

## 若手研究者コラムリレー

### 今城 遥 (いまじょう はるか)

#### プロフィール

聖カトリナ大学 人間健康福祉学部 健康スポーツ学科 助教  
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: 体育科教育学、  
アダプテッド・スポーツ科学

愛媛県新居浜市生まれ

2012年 東海大学体育学部競技スポーツ学科卒業  
2014年 神奈川県内公立中学校に勤務(～2017年3月まで)  
2017年 愛媛大学附属高等学校 勤務(～2021年3月まで)  
2020年 愛媛大学大学院教育学研究科 修了(教育学)  
2020年 筑波大学大学院大学体育スポーツ高度化共同専攻 入学  
2021年より現職

E-mail: imajyou-h@catherine.ac.jp

2022年10月に  
第一子が誕生  
し、絶賛育児中  
です。

↓



↑ ゼミ生たちと卒論発表会後に、  
学生同士の交流を深めるイベントがこ  
ごとく中止になり、やむなくボウリング大  
会をしたという思い出のポーズ。

#### わたしの研究

### 個の違いを越えて、みんなが 活躍できる体育授業を創りたい！

私は大学卒業後、中学校の特別支援学級での勤務を経験したのですが、そこには私の中の体育に対するイメージが大きく覆される光景が広がっていました。特別支援学級の体育授業は、一つの種目を教材として扱うにしても、生徒それぞれの特徴に応じて課題を設定し、みんなが一緒に活動することもあれば、ひとりで楽しむこともできるような手立てが複数準備されていたのです。特に印象的だったのが、「みんなが笑顔で体を動かしていること」でした。当時の私は、「この考え方を他の体育授業でも生かしたい」とワクワクした気持ちになったことを今でも鮮明に覚えています。振り返ると、この頃から、「みんなが楽しめる」体育授業を探求するようになったのだと思います。

数年後、地元愛媛県に戻り、今度は高校の体育教師として勤務することになりました。その学校では、運動能力差や性の違い、障がいの有無を超えて、「みんなが活躍できる」体育授業を創ることを自身のモットーとしました。これは、「みんなが楽しめるゲームルールを創ろう」というテーマを設定した球技授業の際、生徒たちの反応を見て、「楽しさ」にも個人差があると感じたからです。条件を工夫する際に、人によって楽しいと感じるポイントが異なるのであれば、「みんなが活躍できる」ような工夫をする方がよいのではないかと考えるようになりました。いい塩梅の(力が拮抗する)ゲームルールを創ることができれば、みんなが活躍でき、そこに喜びや楽しさが生まれるといいな、と。これはまだ思考の途中段階で、自分の中の答えは見つかっていませんが、「共生体育」をテーマに、現在もアダプテッド・スポーツ領域と、体育科教育領域の両側から研究をおこなっています。

今城遥ほか、共生体育の実践に必要とされる体育教師の役割や資質能力：性の違いを包括した高等学校の体育授業を通じて：人間文化研究所紀要 (25), 1-11, 2020

#### (なんでも帳)「新米母ちゃん奮闘中」

最近、自身に環境が変わったので、備忘録も兼ねてここで綴らせていただこうと思います。

昨年、ご縁あって我が家に第一子が生まれました。これまで私が最もイメージできなかった「妊娠・出産」を目前にして、強く感じたのは「休むことへの恐怖」です。つわりがひどく仕事ができない間、突然の入院期間中、産休中、すべての場面でその恐怖を感じました。有難いことに職場の理解も得られ、温かく見守っていただきましたが、この感覚だけはどうしても拭うことができず、結局体の回復を待たずして、育休を取ることなく復帰することにしました(家事はほぼ夫が担当)。きつと、社会から取り残されるような怖さがあったのだと思います。

4月からは、子どもも保育園に通うようになり、誰かの調子に合わせて自分の予定を調整する生活が始まりました。通常通りの業務をこなしながらの慣らし保育(人見知り強めだった我が子は1ヶ月以上かかりました)、次から次へと受ける保育園の洗礼…。「休む恐怖」は、産休が明けたからといって私を解放してくれるものではありません。むしろスタートでした(現在も夫と二人、白目状態です)。

こうなると、変えられるのは「自分の思考」だけ。コントロールできない子どもの体調に一喜一憂している暇はありません。今は「休む勇氣」を持ち、できる限り前倒して物事を進める癖をつけることにしたいと思います。文字通り、「新米母ちゃん奮闘中」です。

#### 日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！ → メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

[taikugakkaiwakate@gmail.com](mailto:taikugakkaiwakate@gmail.com)

